
I LIKE MUSIC!

凛子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

I LIKE MUSIC!

【Zコード】

Z0974W

【作者名】

凜子

【あらすじ】

高校生になつたばかりの上野希には、親友の葵にですら話せない夢がある。それは歌手になりたいこと。

そんな上野希は、高校の同級生・瀬田翔にひょんなことから自分の夢を知られてしまう。2人だけのヒミツを持ったことからか、2人は意識し合うようにな。

中学からの翔のファンである美咲・彩乃・あやめの3人は、希と翔とが急に仲良くなつたことが気に入らず、翔のライバルである桐島潤をそそのかして2人の関係を探らせることになる。

雨野…栗谷…伊藤…上野！ あつた！

「希一、クラスどこー？」

後ろから葵の声がした。にっこりと笑顔で振り返る。

「2組つー！」

「ホント？！ あたしもつーー！」

「やつたー、高校も葵とおんなじクラスだーー！」

校門の前で手を取り合つ。

夢にまでみた秀誠高校。夢にまでみた制服。夢にまでみた友達。これから、どんなこと出来るかな。どんなこと挑戦できるかな。葵が私の手を引っ張つて教室へと向かう。

そういえば、と葵が呟いた。

「今日、遊べる？ ちょっと買い物行かない？」

「あつ、今日は駄目。自主練。」

「…て、歌の？ あの川のこと？」

「うん。学校から離れてるから知り合いとは絶対会わないだらうし、声が響きにくいところだから自分の欠点がすぐ分かるし。」

「頑張るね、希はそもそも歌上手じやん。…あ、口口だ、1年2組。

「ドアを入ると、窓から吹いてくる風が葵の綺麗な黒髪をふんわりと揺らした。

上野希、今日高校生になつたばかりの15歳。

歌が好きなのはみんな知ってるけど、みんなにも言つていなうこと。私は歌手を目指してゐる。

他の人们にも、家族にも、親友にさえ言つていなこヒミツ。

「きりーつ、れーい！」

「さようならー。」

帰りの挨拶のあと、クラスメイトたちはバラバラと歓声を上げて、制服のネクタイを緩めたり、第一ボタンを外したりしている。

「あーーつ、ネクタイきちつと締めたら苦しーい。」

葵が私の席まで歩いてきて、苦しそうにネクタイをほどいた。

「どうする？ バス乗り場まで一緒に行こうか。」

そう聞くと、葵は首を横に振った。

「駄目、あたし今日掃除当番だつて。その後体育委員の打ち合わせあるつてセンセイ行つてた。ゴメン。」

そつか、葵、さつき体育委員に立候補してたもんね。

「いいよいよ、じゃあ、私はもう河原行くから、じゃあねー。」

「明日バス乗り場で待つてるからー。」

「うん！」

「メールするよー！」

「わかったーー！」

カバンを肩にかけ直してから、私は玄関へと一気に階段を降りた。

#1# (後書き)

読んでいただきありがとうございました(*、艸、)

コメントくだりごましたら必ずメッセージ&コメントで返します。
+。ヽ、ヽ、ヽ。+。

次回も読んでいただけすると本当に嬉しいです(、ヽ、ヽ)。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0974w/>

I LIKE MUSIC!

2011年10月8日13時58分発行